

地域の高齢化、近所の人たちと話す機会の減少など、地域の人たちの交流が疎遠になりつつあります。住んでいる所に誇りや親しみを持ち続け、お互いに助け合い、安心して暮らし続けるためにどうしたらよいのでしょうか。

26年度、年6回の講座を開催し、住民と市職員が一緒になって考えてきました。第5回、第6回の講座について皆さんに報告します。(平成27年3月)

第5回 先進地区事例学習

『高浜市における地域内分権の取組み(特派員制度について)』

平成27年1月17日(土)、講師に木村忠好氏(高浜市企画部総合政策グループリーダー)を迎えて講座を開催しました。資料や講師発言、ワークショップ(グループによる話し合い)の発表の一部を紹介します。

「持続可能な自立した基礎自治体の確立」を目指して

財政力の強化 住民力の強化 職員力の強化

「3つのキーワード」達成のための5つの改革の柱(具体的な方策)

- ①組織構造改革
- ②アウトソーシング戦略
- ③地域内分権の推進
- ④受益と負担の改革
- ⑤人事・給与制度改革

まちづくり協議会

地域でしか解決できないことや地域でとりくんだほうがよりよいサービスにつながるものは地域で行い、そのために必要な権限と財源を地域へ

まちづくり協議会の設立

地域の長所・個性や課題は地域によって様々 + 行政でできることには限りがある(一律・公平、職員数、予算...)

地域のいいところ(長所・魅力)や心配なところ(課題・問題点)は地域で暮らしている市民が一番よく知っている!

地域でしか解決できないことや地域でとりくんだほうがよりよいサービスにつながるものは地域で行い、そのために必要な権限と財源を地域へ(地方自治の本来の姿へ)

住民自らが地域の長所・個性の伸展や課題解決に向けて汗を流す!

地域内分権の推進

町内会、公民館活動、小学校活動関係(PTA・おやじの会・子ども会など)

まちづくり協議会 地域の総合力

幼稚園・保育園、いきいきクラブ、消防団、民生委員、婦人会、NPO各種団体、外国人、まちづくり協議会特派員、社会福祉協議会

地域でしか解決できないことや地域でとりくんだほうがよりよいサービスにつながるものは、地域で行う。そのために必要な権限と財源を地域へお返しをする。(地方自治本来の姿に立ち返る)

まちづくり協議会の設立状況

【吉浜小学校区】誰もが住みやすく安心・安全で活気のあるまち

【翼小学校区】垣根のない思いやりのあるまち

【高浜小学校区】豊かな絆を結び合う愛着と誇りを持てるまち

【高取小学校区】心ふれあう安全・安心なまち

【港小学校区】ふれあいのある心豊かな地域共生のまち

吉浜 まちづくり協議会 平成19年9月設立 5町内会
翼 まちづくり協議会 平成20年3月設立 2町内会
高浜 まちづくり協議会 平成21年5月設立 4町内会
高取 まちづくり協議会 平成20年8月設立 4町内会
高浜南部 まちづくり協議会 平成17年3月設立 3町内会

まちづくり協議会への活動支援

まちづくり協議会

市(町内会、PTA、いきいきクラブ、公民館、婦人会、子ども会、個人)

事業

街頭犯罪の減少、地域防災力の強化、子どもやお母さんたちの居場所づくり、高齢者の生きがいづくり、環境美化、面談社会の構築

拠点施設の整備(モノ)

市民予算幹事業交付金(カネ)、地域内分権推進事業交付金

市役所

市職員の支援(ヒト)

まち協特派員

まちづくり協議会事務局

まちづくり協議会特派員制度

まちづくり協議会に特別に派遣する職員

職責として、まちづくり協議会の運営支援に関わる制度

～平成19年度「構造改革プロジェクト 地域内分権分科会報告書」より～

平成19年度に高浜南部まちづくり協議会から「職員地区担当制度の導入」が提案され、制度を設計

平成20年度よりスタート

制度創設の背景

- ・まちづくり協議会は、行政の参加・サポートを求めている。
- ・行政は、職員力の強化（地域活動での知識・経験、人間性、やりがい）、地域の状況・課題を肌で感じ、事業等に反映。

制度の趣旨

- ・地域住民と行政が対等なパートナーとして、地域のまちづくりを推進
- ・地域と行政との情報共有
- ・行政も地域と同様に「ヨコ割り」の体制をつくる

「まちづくり協議会特派員」制度

- ▶ 若手職員からベテラン職員まで**所属部署を越えたチーム**を結成
※チームは管理職が務める ※必ず採用1～3年目程度の職員を入れる
- ▶ 任期は**3年間**（平成20年度よりスタート、現在3期目）
- ▶ 部長職、保育士、教諭職、単労職を除く**全職員（公募制）**

チーム構成例



まちづくり協議会特派員の主な活動

- ① まち協の**役員会・理事会**への出席（月2回程度）
- ② まち協の**各事業グループ会議**への出席（月2～3回程度）
- ③ まち協の**総会**への出席（年1回）
- ④ 視察対応
- ⑤ まち協が実施する**各種事業・活動への参加**
（例：公園清掃、公園まつり、防災訓練、交流行事）
- ⑥ **担当小学校区における地域行事の参加**
- ⑦ 「まちづくり協議会派員連絡会」への出席（月1回）
- ⑧ 「まちづくり協議会サミット」への出席（年6回程度）※チームのみ

※講師より（現在の課題は？との問いに対し）

非常に困ったことはないが、意見を率直にぶつけ合うため、心が折れてしまう時もある。
ある地域では事業を広げ過ぎてしまい、次の担い手不足が生じている。

グループによる話し合い結果

★地区まちづくりにおいて、地区住民と市職員が一緒に活動する楽しいアイデア

（以下、主な意見を一部抜粋）

- ・まち歩き（地域を知る、良いところ探しツアー、マップ作成など）
- ・郷土料理を楽しむ（食べて、飲んで、親睦を深める）
- ・ごみ拾い大会（草刈りや花いっぱい活動なども）
- ・課題解決活動（防災、危険箇所点検など）
- ・各種イベント（運動会、お祭り、花見、ソフトボールなど）

※講師より

- ・地域を知るとあったが、地域のすごろくを作成するのはどうか。
→スタートからまず最初に訪れるのは何商店か。次は何商店か。文化財のコマも欲しい。どんな神社があるか。
→まちなかを歩きながらすごろくを作ってみるのも良いと思う。作った後は誰に使ってもらうのか。
→幼稚園児や小学生に使ってもらうと良いかもしれない。地域のことを良く知ってもらえるかもしれない。子供に渡すと親もいっしょにやる。
- ・楽しみやちょっとしたことで楽しくなるようなアイデアをどんどん出してほしい。皆さんがちょっとしたアイデアをどんどん出し合えばおもしろいイベントが出来上がると思う。

第6回 まとめ『振り返り・ワークショップ(地区の理想の姿になるには)』

平成27年3月7日(土)、講座のまとめとして、内容の振り返りと、ワークショップ(グループによる話し合い)を行いました。多くの皆さんご参加ありがとうございました。

講座内容の振り返り

- ・地区まちづくり通信(広報とこなめ同時配布、市ホームページ掲載)等の資料による振り返り

アンケート集計結果

- ・第5回講座にて配付したアンケートの集計結果を参加者で共有(設問1:地区の理想の姿にならない要因は何だと思えますか?)(設問2:上記要因に対する方策アイデアをご記入ください)
※70を超える方策アイデアが出ました。市ホームページにも掲載します。



ワークショップ(グループによる話し合い)

- ・アンケート集計結果を参考にして、「地区の理想の姿になるためにはどうしたらよいか」話し合いました。実現性、実効性も考慮しながら、方策アイデアの展開計画表を作成し、発表後に投票も行いました。結果は次のとおりです。

地区の理想の姿(常滑市市民協働推進提言書に記載)

「住民は、地域に対して誇りや愛着を持ち、自らが暮らしやすい地域にするため、地域活動に参加して互いに助け合い、地域のなかで安心して暮らし続けることができるようになっている。」

方策アイデア展開計画書【Aグループ】 投票数 20票

方策アイデア	学校を巻き込んで、3世代が交流を図れるまちの美化、公園清掃、防災などのイベントを皆で汗をかくて行う
--------	---

上記の方策アイデアを展開するのに、何をするとよいですか? それは誰がしますか? いつ? どうやって?

何を(※どうやっても含め)	誰が	いつからorいつまでに
グラウンドゴルフ	老人会	今年から
豚汁、バーベキュー、五目御飯等、食に関すること、歩け歩け大会	コミュニティ	今年から
運動会	学校	今年から
環境美化(ゴミ捨て、花壇、植樹)	おやじの会	今年から
学校フェスティバル、運動会	PTA	今年から

方策アイデア展開計画書【Eグループ】 投票数 17票

方策アイデア	防災訓練及びイベント
--------	------------

上記の方策アイデアを展開するのに、何をするとよいですか? それは誰がしますか? いつ? どうやって?

何を(※どうやっても含め)	誰が	いつからorいつまでに
安否確認(老若男女)	各町内長	当日
避難経路の確認	コミュニティ	3月22日
ゴミを拾う	参加者全員	当日
危険箇所の確認等(場所・人・物)	コミュニティ	当日 後日記録
イベント開催(交流会・常鍋)	区	当日

方策アイデア展開計画書【Bグループ】 投票数 8票

方策アイデア	地区について知る機会
--------	------------

上記の方策アイデアを展開するのに、何をするとよいですか? それは誰がしますか? いつ? どうやって?

何を(※どうやっても含め)	誰が	いつからorいつまでに
地区で行われている行事を整理する!!	区長	今年度中
地域を知る学習の場を創出してもらう	小・中学校	2年後
中学校区内の区単位で発表してもらう(文化会館等で地区発表会)	中学生を中心に親・住民	3年後
CATV・facebookでの発信		

方策アイデア展開計画書【Gグループ】 投票数 19票

方策アイデア	防災活動イベントを通じて住民相互の絆を!
--------	----------------------

上記の方策アイデアを展開するのに、何をするとよいですか? それは誰がしますか? いつ? どうやって?

何を(※どうやっても含め)	誰が	いつからorいつまでに
子供が楽しめる餅つき(一鍋) 防災クイズ	日赤、ボーイスカウト、市職員、区役員	
みんなで一緒に食べる 炊き出し 防災鍋		
津波時避難先まで歩く(ハザードマップ)	老人クラブ	
告知(回覧板、学校へチラシ、広報紙)、消防手配	職員	
組織づくり	みんな	

方策アイデア展開計画書【Hグループ】 投票数 11票

方策アイデア	交流する場をつくる 大運動会
--------	----------------

上記の方策アイデアを展開するのに、何をするとよいですか? それは誰がしますか? いつ? どうやって?

何を(※どうやっても含め)	誰が	いつからorいつまでに
実行委員会設置	体協	春~
資金集め	各地区	夏~秋
広報(Facebook、広報とこなめなど)	市職員	冬~
参加者募集	各地区	冬~
翌年春開催		

方策アイデア展開計画書【Oグループ】 投票数 8票

方策アイデア	行政と区、市民団体それぞれの連絡調整を行う
--------	-----------------------

上記の方策アイデアを展開するのに、何をするとよいですか? それは誰がしますか? いつ? どうやって?

何を(※どうやっても含め)	誰が	いつからorいつまでに
行政と区	協議 現状の理解 お互いの活動の 理解	コーディネートを行政が行う
行政と市民団体		
行政と行政		
区と市民団体		
市民団体と市民団体		
		1~2年

方策アイデア	いろいろな人にいろいろな役割を持たせる
--------	---------------------

上記の方策アイデアを展開するのに、何をするとよいですか？それは誰がしますか？いつ？どうやって？

何を（※どうやっても含め）	誰が	いつから or いつまでに
役割を洗い出す	区長を中心	4月～6月までに
役割を分類(防災、防犯、環境美化、交通安全等)	区長を中心	7月～9月
上記を割り振る	区長、組長	10月～11月
引き継ぎの仕組みを作る。これの承認を得る。	区長中心	12月
(1月よりスタート)		

方策アイデア	まずは職員から！同じ地区の職員のつながりをつくる
--------	--------------------------

上記の方策アイデアを展開するのに、何をするとよいですか？それは誰がしますか？いつ？どうやって？

何を（※どうやっても含め）	誰が	いつから or いつまでに
参加者を募る	安全協働課	夏まで
交流会(職員同士)	職員	今年中
勉強会	職員+地区役員	今年中
地区との交流会(例:綱引き)	職員+地区住民	今年中?

27年度 常滑市地区まちづくり講座 参加者募集！

1. 主催 常滑市、常滑市市民協働推進委員会

2. 開催時期・内容・講師

回	開催月日	内容等	講師・アドバイザー
1	6月20日(土)	地区まちづくり事例紹介 14:00～／常滑市役所	大濱裕氏(日本福祉大学)
2	8月8日(土)	協働のまちづくりのコツ 13:30～／常滑市役所	会議ファシリテーター普及協会
3	9月26日(土)	地域包括ケアのまちづくり 14:00～／常滑市役所	地域福祉サポートちた
4	10～11月	講演会(協働による地区まちづくり)	未定
5	11～12月	まとめ(振り返りと今後の取組みについて)	未定
6	通年	地区防災まちづくり(中学校区ごとで開催予定) ※該当地区にご出席ください	未定

※内容など諸事情により多少変更する場合があります

※開催日時は土曜日または日曜日の午後を基本とします

※会場は市役所大会議室を基本とします(地区防災まちづくりの会場は未定です)

3. 参加者想定

28地区	各地区2人ずつ(コミュニティ含む) ※できれば1人は女性。若手の参加も歓迎。	3月区長会にて、地区からの推薦を依頼
その他	公募、市職員、市民協働推進委員など	案内チラシ等にて募集

※このほかにも内容に応じて広く参加案内する予定です。

【問合せ先】常滑市総務部安全協働課(市民協働チーム)

〒479-8610 常滑市新開町4丁目1番地 TEL:0569-47-6108

-----キリトリ線-----

平成27年度 常滑市地区まちづくり講座 申込票

必要事項を記入の上、4月27日(月)までに市役所安全協働課へご提出ください。

FAX:0569-35-7879 Eメール:anzenkyodo@city.tokoname.lg.jp

ふりがな 氏名	住所	所属団体	電話番号(※1)
		年齢	メールアドレス(※2)
	〒		
		歳	

(※1連絡しやすい番号をご記入ください)(※2できるだけ資料送付が可能なアドレスをご記入ください)
募集に係る個人情報、本講座以外の目的には使用いたしません。